

お客様の未来までも考慮した柔軟な対応で 幸福につながる住環境を提案する不動産会社



まごころ不動産 株式会社

福岡県福岡市南区松原 3-22-19 エフケイ松原 202

URL : <http://magokoro-fudousan.com>

代表取締役 秋満 大輔

新築の建売物件と中古住宅を中心に、地域に根差して不動産業を手掛ける『まごころ不動産』。その社名が表すように、心のこもった対応で信頼を築き、2018年の創業ながら、いくつもの成約実績を積み重ねている。本日はそんな同社に竹原慎二氏が訪問。柔和の笑顔が印象的な秋満社長に様々なお話を伺った。

秋満社長の歩みから伺います。

小さなころから、将来は漠然と社長になりたいという夢を持っていて、学生時代に出会った本に、経営者になるならまず営業を経験したほうがいいということが書いてあったんですよ。それも扱う商品が高額なほうがいいとも書いてあって、それならば住宅販売かなと思っていました。また、私が中学生の時に両親が新築の家を建てて、それがすごい嬉しかったんですね。それで、住宅は家族を幸せにすることができる商品だという思いがずっとあって、大学生時代に宅地建物取引士の資格を取得しました。そして卒業後は、注文住宅を手掛ける建築会社に入社し、営業職として経験を積みましました。当初は長崎で仕事をしていましたが、12年前に福岡支店ができて異動になり、そこからずっと福岡に住んでいます。

何年ほど勤められたのでしょうか。

約20年になります。独立への思いはずっと持っていて、自分も40歳を過ぎて人生の折り返しを過ぎ、これから考えた時、夢を叶えるのは今しかないと思い、思い切った一歩を踏み出しました。ちょうど子どもが受験の時期でもあったのですが、妻も理解を示してくれて、背中を押してくれました。家族には本当に感謝していますし、家

族の笑顔が、働く原動力になっていますね。家族想いでいらっしゃるのですね。独立されてから、どういった物件を扱われているのでしょうか。

新築の建売物件と中古住宅をメインに扱っています。東京や大阪ほどではありませんが、福岡でも土地が高くなっています。新築の注文住宅となると4千万を超えます。その価格帯ですと、なかなか一般の会社員の方が建てるのは難しいことが多いです。それで私は、もっと低額で一般の方が手に届く物件を扱っていきたくと思いました。そのほうが、今までの知識や経験をより生かしているのではないかと思っただんです。また、誤解を恐れずに申し上げるなら、低価格帯の中古物件の中には、品質が悪いものや欠陥住宅があるのも事実で、そういうことのないように、自分がこれまで磨いてきた知見を最大限に活かして、質が高くて廉価の物件を届けていきたいと思っています。

お客様に寄り添った対応が素晴らしいと思います。お仕事のやり甲斐はどういったところにありますか。

お客様に喜んでいただけただけの時——そこに尽きます。私は、一人ひとりのお客様と信頼関係を深め、長くお付き合いしていきたいと考えています。勤めていたころは、会社が定めた売上の目標がありその数字を追いかけていましたが、経験を重ねる中で、少なからずそこに葛藤を抱くようになりました。たとえば、お客様が無理をして高額な物件を買われたらどうでしょうか。営業マンとしては成績があがるので嬉しいかもしれませんが、真にお客様に寄り添うならば、無理をして高額な物件を購入して生活

after the interview

「場に一丁さえない社なら、立を切終長。買、実もの対応に社価高なら、誠たす。客対、秋高はかう対応も。おたえ、秋高はかう対応も。立に寧れ動物長人いたい」

竹原 慎二
(元WBA世界ミドル級チャンピオン)



に支障がでるならば、それは本当にお客様の幸せとは言えません。お客様の将来も含めてきちんと考えて物件を提案していくことが大事だと私は思っています。ですから、物件の紹介と共にライフプランの提案もできるようにとファイナンシャルプランナーの資格を取得しました。独立間もないですが、私たちは夫婦で運営しており、家族が普通に生活していければいいと考えています。利益を求めめるのではなく、お客様に本当に喜んでいただける仕事をこれからも続けていきたいですね。